

# 人間学を根拠に

「宅老所よりあい」の村瀬孝生さんが書いた『おばあちゃんが呆けた』という本がある。「よしみちパンーセ」という、小学校高学年から中学生向けのシリーズの一冊だ。

これ、数ある介護の本の中でもナンバーワンと言っている傑作で、かつて、「私が厚労大臣なら、全医者と看護師にこの本を読むよう命令したい」と書いたことがある。

当時私の次男は小学校三年生。この本を読んで感激し「介護職になりたい」と言いはじめたくらいだ。すぐにもとのミュージシャンに戻ったけれど。

私はとても、小学生にまで伝わるような文章は書けないなとそう思った。

交流セミナー会場にやってきた編集者からの話は、高校生、大学生向けのシリーズの一冊を書かないかというものだった。

小学生なら無理だ。でも、高校生と大学生なら私にも伝わるものが書けるかもしれない。ちょうど次男も大学に入ったばかりだ。いまの彼にならなとか伝わるかな、そう思って引き

## 介護のススメ!

著者：三好春樹  
発行：ちくまプリマー新書  
定価：820円＋税



受けることにした。

介護職ではないのはもちろん、まだ実社会の体験のない人たちが相手だ。わかりやすく、やさしい表現にしなければならない。しかも「虐待に至らない介護」なんていう深刻な課題を論じることになる。おそらく、次男に通じるように書くことで、一般の人や介護職にもより通じる内容になったのではないかと感じている。

本書では「小規模多機能・ろくじろう」（千葉県）の小池美喜子さんのフェイスブックでの文章を全文引用させてもらった。じつはこれがこの本の（要）のような役割を果たしている。人間学を根拠とする認知症の見方と関わり方が見えてきた、そんな気がしている。

## 読者プレゼント!!

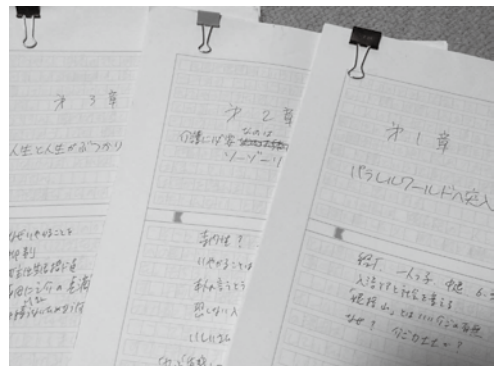
★『介護のススメ!』を3名の方に、さらに自筆原稿、1章から10章までを章ごとに10名の方にプレゼント!

- ①本・原稿のいずれか ②お名前 ③ご住所(〒) ④TEL ⑤定期購読者番号を明記のうえ、ブリコへのご意見・ご希望を書き添えてお申し込みください。

●メール：brico@nanasha.co.jp

●FAX：03-5986-1776

●締切は2月20日。発表は春号(3月15日発行)で!



『介護のススメ!』生原稿